

本日、下記事項を決定いたしました。

記

【1】今年度開催事業

1) ジャパンオープン 2020 (50m) 【競泳競技】(2021年2月4日-7日、東京都・東京アクアティクスセンター)

従来の形態を変えて、開催を目指す。

大会を安全な規模で実施するため、本年度に限り、以下の順位で出場制限を行う。

① 2019年4月1日以降、2020年12月末日までの長水路の最高記録により、各種目上位32名を選出する。

② ①に加えて、32名のうち高校生以下の選手が8名に満たない場合は、高校生以下のランキング上位から合計8名になるまで出場権を与える。

※大会要項は、後日、本連盟HPにて公開する。

2) 2020年度 飛込国際大会派遣選手選考会(2021年3月20日-21日、石川県・金沢プール)
国際大会代表選考会の新規開催を目指す。

トライアル形式で選考の予定であった、ユニバーシアード大会の選考を競技会での選考に変更する。

※大会要項は、後日、本連盟HPにて公開する。

3) 第43回 JOC 全国ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会【飛込競技】(2021年3月25日-26日、東京都・東京辰巳国際水泳場)

当初の計画通り、開催を目指す。

4) 第7回 全日本ジュニア(U17)水球競技選手権大会(かしわざき潮風カップ)(2021年3月18日-20日、新潟県・県立柏崎アクアパーク)

従来の形態を変えて、開催を検討する。

大会を安全な規模で実施するため、本年度に限り、以下の内容で開催を検討する。

①男子のチーム数を16から12に縮小することで、16試合を12試合に縮小する。

②女子の予選リーグを廃止することで、20試合を12試合に縮小する。

③男女4日間の日程を男女各2日間日程の日程に変更する。

5) 第43回 JOC 全国ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会【水球競技】(2021年3月26日-30日、千葉県・千葉県国際総合水泳場)

従来の形態を変えて、開催を検討する。

大会を安全な規模で実施するため、本年度に限り、以下の内容で開催を検討する。

予選リーグを廃止することで、144試合を64試合に縮小する。

以上